

| 第3回横浜市少年自然の家指定管理者選定評価委員会 議事録 | |
|------------------------------|---|
| 開催日時 | 令和4年12月6日(火) 施設視察：午後1時0分から午後1時45分 会議：午後1時45分から午後2時30分 |
| 開催場所 | 横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園会議室 |
| 出席者 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">選定評価委員</div> 松葉口 玲子委員長、青柳 寛子委員、一瀬 克巳委員、川本 和孝委員、 辺見 伸一委員 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">指定管理者(横浜市スポーツ協会)</div> 施設経営課長、南伊豆臨海学園長ほか5人 事務局3人 |
| 傍聴者 | なし |
| 議題 | 1 委員会定足数の確認 2 「評価シート」に基づくヒアリング 3 事務連絡 |
| 審議内容 | 議題1 事務局より委員会の定足数について確認。(委員5人全員出席のため成立) 議題2(主な質問と意見) II 施設・設備の維持管理 ・外壁タイルにかかっている網はタイルの落下防止のためか。 →その通り。 ・火災等の際の避難経路の説明は徹底されているか。 →利用前のオリエンテーションで必ず伝えており、宿泊室にも避難経路図を貼っている。 ・シャワー室のトイレは和式だが、実際に使用されているか。 →改修された洋式のトイレを優先的に使っており、和式のトイレはほとんど使われていない。 ・夏場は温湿度が高くなるが殺菌庫のようなものを使っているか。 →食洗機で洗った後に滅菌庫を使用している。 III 運営及びサービスの質の向上 ・横浜市内の利用者は全体の何割を占めているか。また、横浜市以外の利用は主にどこの地域、どんな団体か。 →横浜市民の利用は3割程度。横浜市以外では、南伊豆周辺の地域や、座間、山梨の利用もある。小学校やスポーツ団体の利用が多い。 ・当施設に限らず、3.11の震災時から遠泳実習等が避けられている。利用者呼び戻すためにしていることはあるか。 |

| | |
|-----------|---|
| | <p>→利用する学校の保護者説明会に参加して、緊急対応について重点的に話をしている。</p> <p>IV 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最も近い病院までの距離はどれくらいか。 →40～50 分かかる。それまでは上級救命講習を受けた職員による応急措置や学園車での搬送で対応している。 ・赤城林間学園では、2名が赤十字救急法救急員の資格を取得していたが南伊豆臨海学園の資格取得状況は。 →現時点では園長のみだが、全員が申し込みをしており今後取得予定。 <p>V 地元との交流・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元との交流は具体的にどんなことをしているのか。 →最近では、「フェスタ南伊豆」というイベントに出展して町民との交流を行い、売上金は南伊豆町に寄附した。 ・利用者に提供される食材は地元のものを使用しているのか。 →お米やのりは農協や漁協から提供があり、学園食に使用している。 ・地元の食材を使用しているときには、利用者に分かるよう表示等はしているのか。 →教室事業のときはお品書きとして配付したり、提供時に栄養士から説明をしている。 <p>VI 指定管理料の執行状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支決算書を見ると自主事業による収入が多いようだが、こういった内容を提供しているのか。 →GW、夏休みにかけてカヤック、カッターやシュノーケリング等の海のプログラムが人気。 ・海の事業で貸し出している用具は何か。足ひれはあるのか。 →貸し出しているのはライフジャケットとシュノーケルのセット。足ひれはない。 |
| | <p>議題3</p> <p>第4回委員会は、市庁舎の会議室で開催予定。各委員から赤城・南伊豆の両評価シートを回収し事務局でとりまとめたものを提示し、審議のうえ評価シートを確定する。開催日時については、後日、事務局で各委員からの予定を集約し決定することとなった。</p> |
| <p>資料</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・横浜市少年自然の家南伊豆臨海学園 評価シート ・評価に係る関係資料（事前送付） ・評価に係る挙証資料（一部事前送付・閲覧） |